



2019年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年2月7日

上場会社名 株式会社 朝日ラバー
 コード番号 5162 URL <http://www.asahi-rubber.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長
 四半期報告書提出予定日 2019年2月7日

(氏名) 渡邊 陽一郎
 (氏名) 田崎 益次

TEL 048-650-6051

配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2019年3月期第3四半期の連結業績(2018年4月1日～2018年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第3四半期	6,028	8.5	471	8.5	487	7.1	322	2.0
2018年3月期第3四半期	5,555	16.7	435	22.4	454	18.5	315	13.5

(注) 包括利益 2019年3月期第3四半期 224百万円 (△43.6%) 2018年3月期第3四半期 398百万円 (74.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期第3四半期	71.33	—
2018年3月期第3四半期	70.16	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年3月期第3四半期	10,523	4,449	42.3	983.82
2018年3月期	10,508	4,324	41.2	958.48

(参考) 自己資本 2019年3月期第3四半期 4,449百万円 2018年3月期 4,324百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年3月期	—	6.00	—	14.00	20.00
2019年3月期	—	10.00	—		
2019年3月期(予想)				10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2019年3月期の連結業績予想(2018年4月1日～2019年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,789	3.4	539	△3.9	565	△4.2	398	△13.4	88.00

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
 新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 有
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

2019年3月期3Q	4,618,520 株	2018年3月期	4,618,520 株
2019年3月期3Q	95,676 株	2018年3月期	106,672 株
2019年3月期3Q	4,517,491 株	2018年3月期3Q	4,503,492 株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は様々な要因により、上記予想値と異なる場合があります。

なお、上記予想値に関する事項は添付資料2ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予想情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する注記	3
(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
3. 四半期連結財務及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループは、2020年を見据えたビジョン「AR-2020 VISION」を策定し、2017年4月から第12次中期経営計画「V-2計画」をスタートしております。中期経営方針として「AR-2020 VISIONに通ずる質的成長を求めて広く社会に貢献する」を掲げ、継続的な成長を可能にする強固な事業基盤を整備し、ゴムの基礎技術と製品力を磨いて質的な成長を目指しております。

重点事業分野を車載・照明、医療・ライフサイエンス、その他の3つとし、特に研究開発として車載・照明分野では感性認知支援領域、医療・ライフサイエンス分野ではウェアラブル領域、その他分野では再生エネルギー領域における「プラズマ気流制御電極の開発事業」を国立研究開発法人産業技術総合研究所の福島再生可能エネルギー研究所から支援いただきながら進め、それぞれの研究計画通りに評価を積み上げております。

当第3四半期連結累計期間における事業環境は年末にかけて世界経済の景気減速感を受け始めておりますが、第12次中期経営計画に則した各重点事業分野への施策遂行、そして経営基盤の強化につながる基幹システムの変更など着実に前進させてまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の経営成績は、連結売上高は60億2千8百万円（前年同四半期比8.5%増）となりました。利益面では、販売の増加等により連結営業利益は4億7千1百万円（前年同四半期比8.5%増）、連結経常利益は4億8千7百万円（前年同四半期比7.1%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は3億2千2百万円（前年同四半期比2.0%増）となりました。

セグメント別の経営成績は、次のとおりです。

工業用ゴム事業

工業用ゴム事業では、自動車内装照明用のASA COLOR LEDは当第3四半期に入り受注がやや減少していますが、スポーツ用ゴム製品である卓球用ラケットラバーは堅調に推移いたしました。また、認証・認識ビジネスに対応するRFIDタグ用ゴム製品が顧客販売戦略強化などにより当第3四半期の販売が増加いたしました。

この結果、工業用ゴム事業の連結売上高は51億円（前年同四半期比9.4%増）となりました。またセグメント利益は5億8千7百万円（前年同四半期比12.7%増）となりました。

医療・衛生用ゴム事業

医療・衛生用ゴム事業では、ディスプレイ用ゴム製品であるプレフィルドシリンジ（薬液充填済み注射器）用ガスケットや採血用・薬液混注用ゴム栓などの受注が安定して推移いたしました。

この結果、医療・衛生用ゴム事業の連結売上高は9億2千7百万円（前年同四半期比3.8%増）となりました。セグメント利益は売上製品構成の変化等により1億2千2百万円（前年同四半期比15.9%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は前連結会計年度末に比べて1千4万円増加し、105億2千3百万円となりました。その主な要因は、電子記録債務、未払法人税等の支払いにより現金及び預金が減少したものの、工業用ゴム事業において自動車関連ゴム製品及びRFIDタグ用ゴム製品の増産対応の設備投資があったことで機械装置及び運搬具が増加したものであります。

負債は前連結会計年度末に比べて1億1千万円減少し、60億7千3百万円となりました。その主な要因は、電子記録債務の減少によるものであります。

純資産は前連結会計年度末に比べて1億2千5百万円増加し、44億4千9百万円となりました。その主な要因は、当第3四半期連結累計期間の利益計上に伴う利益剰余金の増加によるものであります。

なお、当第3四半期連結会計期間末における借入金及びリース債務を含む有利子負債の残高は32億8千7百万円となっております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2018年5月14日に「2018年3月期 決算短信」で公表しました通期の連結業績予想を変更しております。

詳細につきましては、本日公表しております「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税金等調整前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税金等調整前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

（2）会計方針の変更

（たな卸資産の評価方法の変更）

従来、製品及び仕掛品は主に総平均法による原価法によっておりましたが、当第3四半期連結会計期間より個別法による原価法に変更いたしました。

この変更は2018年10月に実施した基幹システムの変更を契機としており、より精緻な原価管理を目的として行ったものであります。

2018年10月1日以前については変更後の原価計算を行うために必要な情報を保持していないため、この会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を算定することは実務上不可能であります。そのため、2018年10月1日における製品及び仕掛品の帳簿価額を期首残高とみなして、2018年10月1日から将来にわたり変更後の会計方針を適用しております。当該会計方針の変更による影響額は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2018年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,849,564	2,467,577
受取手形及び売掛金	1,762,366	1,940,370
電子記録債権	233,055	250,542
商品及び製品	249,955	220,640
仕掛品	404,549	382,068
原材料及び貯蔵品	133,336	194,030
その他	87,979	102,473
貸倒引当金	△1,903	△1,709
流動資産合計	5,718,905	5,555,993
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,207,869	1,221,709
機械装置及び運搬具（純額）	1,305,159	1,517,359
土地	886,216	886,216
その他（純額）	202,751	236,813
有形固定資産合計	3,601,997	3,862,098
無形固定資産	92,826	102,542
投資その他の資産		
その他	1,097,976	1,005,962
貸倒引当金	△3,422	△3,422
投資その他の資産合計	1,094,554	1,002,540
固定資産合計	4,789,377	4,967,181
資産合計	10,508,282	10,523,175
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	460,512	478,651
電子記録債務	987,093	853,701
1年内返済予定の長期借入金	1,082,676	1,087,606
未払法人税等	115,031	62,448
役員退職慰労引当金	2,335	—
その他	726,105	633,124
流動負債合計	3,373,754	3,115,532
固定負債		
長期借入金	2,066,581	2,170,551
役員退職慰労引当金	89,387	—
役員株式給付引当金	—	4,317
退職給付に係る負債	631,272	675,126
その他	22,781	107,977
固定負債合計	2,810,022	2,957,973
負債合計	6,183,776	6,073,505

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2018年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	516,870	516,870
資本剰余金	457,970	465,112
利益剰余金	3,143,327	3,356,258
自己株式	△78,392	△75,495
株主資本合計	4,039,775	4,262,744
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	202,731	132,628
為替換算調整勘定	82,000	54,296
その他の包括利益累計額合計	284,731	186,925
純資産合計	4,324,506	4,449,670
負債純資産合計	10,508,282	10,523,175

（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

（四半期連結損益計算書）

（第3四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第3四半期連結累計期間 （自 2017年4月1日 至 2017年12月31日）	当第3四半期連結累計期間 （自 2018年4月1日 至 2018年12月31日）
売上高	5,555,475	6,028,051
売上原価	4,123,365	4,490,837
売上総利益	1,432,109	1,537,214
販売費及び一般管理費	996,923	1,065,253
営業利益	435,185	471,960
営業外収益		
受取利息	1,836	1,356
受取配当金	6,726	7,554
作業くず売却益	7,460	9,151
雑収入	17,709	15,302
営業外収益合計	33,733	33,364
営業外費用		
支払利息	9,426	7,645
為替差損	—	4,417
雑支出	4,594	6,075
営業外費用合計	14,021	18,137
経常利益	454,898	487,187
特別利益		
補助金収入	95,800	7,998
特別利益合計	95,800	7,998
特別損失		
固定資産除却損	21,437	14,823
固定資産圧縮損	63,672	7,474
減損損失	14,451	—
投資有価証券売却損	458	—
投資有価証券評価損	—	14,588
特別損失合計	100,020	36,885
税金等調整前四半期純利益	450,677	458,299
法人税等	134,709	136,048
四半期純利益	315,967	322,251
親会社株主に帰属する四半期純利益	315,967	322,251

（四半期連結包括利益計算書）
（第3四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第3四半期連結累計期間 （自 2017年4月1日 至 2017年12月31日）	当第3四半期連結累計期間 （自 2018年4月1日 至 2018年12月31日）
四半期純利益	315,967	322,251
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	82,361	△70,102
為替換算調整勘定	△120	△27,703
その他の包括利益合計	82,241	△97,805
四半期包括利益	398,209	224,445
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	398,209	224,445

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間（自2017年4月1日至2017年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	工業用ゴム事業	医療・衛生用ゴム事業	合計
売上高			
外部顧客への売上高	4,661,514	893,960	5,555,475
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—
計	4,661,514	893,960	5,555,475
セグメント利益	520,996	146,199	667,196

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

利益	金額（千円）
報告セグメント計	667,196
全社費用（注）	△232,010
四半期連結損益計算書の営業利益	435,185

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない基礎的研究費及び提出会社の管理部門に係る費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間（自2018年4月1日至2018年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	工業用ゴム事業	医療・衛生用ゴム事業	合計
売上高			
外部顧客への売上高	5,100,253	927,798	6,028,051
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—
計	5,100,253	927,798	6,028,051
セグメント利益	587,005	122,955	709,961

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

利益	金額（千円）
報告セグメント計	709,961
全社費用（注）	△238,000
四半期連結損益計算書の営業利益	471,960

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない基礎的研究費及び提出会社の管理部門に係る費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。